

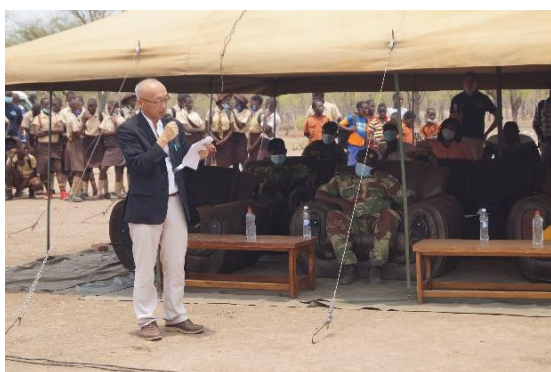
## 草の根・人間の安全保障無償資金協力「中央マシヨナランド州における地雷除去計画」引渡式

11月12日、日本、アメリカ、イギリス等の支援により実施された、中央マシヨナランド州マウンドダーウィン郡における対人地雷の撤去が完了し、住民に土地を引渡す式典が行われ、当館から田中大使が出席しました。

日本政府は、地雷撤去活動を行う国際 NGO「ヘイロートラスト」(英名: The HALO Trust)を通じて、平成 24 年度から草の根・人間の安全保障無償資金協力「中央マシヨナランド州における地雷除去計画」により、ジンバブエにおける地雷撤去活動の支援を継続的に行っています。

マウントダーウィン郡では、モザンビークとの国境付近の住民が、地雷により亡くなったり、怪我を負ったりすることが続いていました。子どもたちは、地雷原の間を歩いて登校しなければならず、また、家畜が地雷原に入り、貴重な財産を失うことも多くありました。住民は地雷により、行動が制限されるだけでなく、恐怖から精神的な不安を長期的に抱えていました。同団体の活動により、マウンドダーウィン郡から地雷が撤去され、危険な土地が安全な学校や農地に生まれ変わりました。保護者は子どもたちが安全に学校に行き、庭を走り回ることができることに感謝していました。

当館では、マウントダーウィン郡の東に位置するルシंगा郡においても、国境付近での地雷撤去活動を続けており、田中大使は式典に先立ち実施中の地雷撤去現場を訪問しました。これまで日本政府の支援により、約 26,000 個の対人地雷を撤去し、約 1,180,000 平方メートルの土地を住民に解放することに成功しています。



地雷撤去を祝福する田中大使



日本が支援する地雷撤去チームメンバーと田中大使



地雷撤去支援団体を示す看板



地雷の危険を訴える子どもたち



地雷原を訪れる田中大使



現在地雷撤去活動中のルシンガ郡第2区